

町の人口 (8月末)

・総人口	15,787人
男	7,599人
女	8,188人
・世帯数	4,031世帯
・転入23人・転出47人	
・出生12人・死亡11人	



じょうずにできたよ

浮立の共演「野々川浮立」より
(関連記事4～5ページ)

こう考える の 活 性



松尾 武信さん

波佐見町商店振興会理事

小売店はお客さんとのつながりを大切に

八月一日から新しいハサミックシールになりましたが、お客さんの評判もいいし、加盟店も増えています。おかげさまで順調なスタートが切れましたね。

以前の波佐見シールは加盟店が五十二店でしたが、シールそのものの魅力が低下していたんです。シールを出したら店の負担が大きくなるし、店によっては割引商品には出さなかったり、シールそのものにもあまり乗り気でないためにお客さんに渡すのを忘れたりで、中途半端な状況でした。これは、波佐見に限らずほかの町でも同じようなことがいえたんですけど、一つの壁にぶつかっている状態でした。

ところが、今年の四月ごろに、シールを活用した魅力たっぷりの活気ある商店街があることを知ったんです。早速シール会の人が視察に行きまして、その報告を聞いたんですが驚きましたね。東京の烏山駅前通り商店街というところなんですけど、シールを集めた人をコンサートやデイズ

ニerlandに招待するなど、活発に利用しているんです。お客さんは盛んにシールを集めているそうです。この商店街には大型店舗が進出していて、よく売り出しをするのですがなかなか売上げが伸びない。どうしてだろうと調査した結果、この商店街のシールの影響だったそうです。

そこで、六月にこの商店街の人を波佐見に呼んで講演を聞いてみて、シールの本当の活用方法が分かったような気がします。

波佐見町サービスシール会の名前も、八月から波佐見町商店振興会に変えました。現在加盟店は七十七店に増えています。これからは、商店だけでなくサービス業の人たちにも呼びかけて、お客さんがもっと利用しやすいハサミックシールにしたいですね。

八月は、発足記念として大々的にイベントを行いました。賞金総額百万円が当たる抽選券やペンションの宿泊券、プロ野球観戦、一万円の鉢盛などがあり、お客さんにも好評で喜んでもらいました。九月以降も、イベントは続けていきたいと思っています。

私は湯無田で開業していますが、ここはどの店も頑張っ

て一生懸命やっていますね。商店街としても活気が出ていくし、お客さんも地元で買い物をしてシールを集めてくれます。私たちのような地元の小売店は、お客さんとのつながりを大切にしなければいけないんです。太いパイプでつながっていないければいけないし、お客さんの意見を聞きながらやっていかなければいけないと思っています。

活性化対策などいろいろな意見がありますが、今は、私たち商店自身がお客さんが来てくれるように努力しなければいけないんです。加盟店が増え、シールをもっと活用してもらえれば、イベントもさらに増えて祭りのようにもなり、商店の振興、ひいては波佐見全体の活性化にもつながると思います。

わたしは 波佐見



長与 重俊さん

南地区水曜会会長

行動することが結果的に活性化につながれば

人は本来祭りが好きなんですよね。

南地区水曜会では、四月の桜まつりを企画したり、温泉まつりでビアガーデンを行っています。ほかにも、水神宮の夏越祭に参加したりしています。メインは桜まつりにありますが、去年までは鴻ノ巣公園でやっていて、市場的な形態のイベントでした。それが、今年は桜づつみを使わせてもらったことにより、企画できる内容が広がりましたね。かごかき競争は、人を乗せたかごを担いで一・四^キ走るんですから、たしかにきついですよ。しかし、楽しんでもらっていると思います。それも、当日だけではなく、どんなかごにしようかなど、準備の段階から楽しんでもらっています。店もたくさん出ましたし、駅伝にも多くのチームが参加しました。多くの人が来てもらって、にぎやかなイベントになりました。やっぱり、みんな祭りが好きなんです。にぎやかなれば活気が出てきます。地域の活性化とか

町の活性化などと、大きなこととは私たちは考えていません。ただ、行動することによって、結果的にそういったことにつながってくればいいんですけどね。

南地区水曜会の会員は十九人で、食料品店や鮮魚店、スポーツ店などの店主や、建設業、理容業、上絵付業などさまざまです。会の趣旨としては、日ごろお世話になっている人たちに、何かお返しをしたいと考えてイベントなどを行っています。会員は少ないし、全町的なイベントなどは出来る力はありませんが、自分たちの出来る範囲内で活動しようと思っています。準備など、きついときもありますが、やりとげたときは「やったね」という気持ちになります。来年には、夏のイベントを増やしたいと考えているんですけどね。

受け入れ態勢が出来ていません。私たちは毎年いろんなところに視察に行くんですが、去年行った佐賀県の富士町は人口が激減し半分になってしまったそうです。しかし、住民と行政がタイアップして観光客の誘致に乗り出し、今では年間六十万人が訪れるようになったそうです。

周辺に大型の観光施設が完成しようとしている今、波佐見でもいろんな問題点がありますが、観光客の受け入れ態勢がとればいいんですけどね。

それと、もてなしの心も大切だと思います。以前大島町に行ったときに、地元の人に大変親切にしてもらって、もう一度行ってみたいと思ったことがあります。私の店にも工事関係などで波佐見に来ているよその人が来てくれることがあるんですが、その時は、波佐見の人には応待が少しぐらい悪くなくても、よそからの人に気を遣うようにしているんですよ。

演

協和浮立

波佐見には四つの浮立が伝承されています。お年寄りから子へ、孫へ、と伝えられ、数百年経った今も地区の夏まつりなどで演じられています。貴重な文化遺産を後世に伝えようと、それぞれの地区で、懸命の保存活動が続けられています。

町教育委員会では、町制三十五周年を迎えた記念として、郷土芸能の神髄を多くの人に鑑賞してもらおうと浮立の共演を行いました。今年は、協和と野々川の保存会の協力を得て、八月十八日、勤労者体育センターに約六百人の見物者を集め、ふるさとに伝わる伝統芸能を披露しました。

起元は天正年間とされています。治水の神を祭る水神宮が雨ごい祈とうを行うとき奉納され、今に伝承されました。水神宮の祭りの日（七月十八日）などには、小中学生のかわいい綾竹踊りも人気があり、奉納演技を鑑賞することができます。

道ばやし、出は、入は、返し、まくり、シャギリなどの曲目があり、軽快なリズムと太鼓や踊りは晴れやかで、古式に富んでいます。



シャギリ



小太鼓



道ばやし

英

野々山舞立



銭太鼓

起源は明らかではありませんが、百七十年ほど前佐賀藩から直接伝えられたといわれます。幕末のころは、大村城下まで郷民総出で十里の道を遠しとせず道中雑子で繰り出し、殿様から大いにもてはやされたといえます。毎年、八月十六日には氏神に奉納されてにぎわいます。

曲目は、三番曳、奴、二十四孝、銭太鼓、虎などで、曲も踊りも晴れやかで、動作が大きく若がこまやかです。



綾竹



式三番



笛と鉦



虎



受け継がれる伝統芸能

血山人形浄瑠璃

八月二十一日、長崎県の無形文化財に指定されている血山人形浄瑠璃が、台風の接近により血山郷公民館に場所を変えて、保存会の人たちにより演じられました。

今年のおし物は、「絵本太功記十段目、尼が崎の段」の後段で、主君を討った光秀が真柴久吉（羽柴秀吉）の軍に追われ、家族までもが傷ついていくようすが演じられました。

三人で一体の人形を操つるこの人形浄瑠璃は、後継者不足のため三年前は二体の人形しか出演させられませんでした。しかし、二年前に十人以上の若者が伝統文化の継承に乗り出し、今で

は五体の人形でも一度に出演させることができるようになりました。若者たちは、何十年も浄瑠璃に携わってきた先輩たちの指導を受けて毎週一回水曜日に練習を続け、少しずつ技術も向上しています。

県内では、二カ所には残っていないこの貴重な人形浄瑠璃は、これまでに二百五十年の歴史を刻み、さらに後世へと守り伝えられていくでしょう。

波佐見に生まれた伝統文化の歴史は、私たちにとって貴重な財産であり、これからも多くの人に感動を与えてくれるでしょう。



「尼が崎の段」前段（昨年の公演から）



「絵本太功記十段目 尼が崎の段」後段



練習を続ける保存会のメンバー



「絵本太功記十段目

ながさき観光大学 はさみ陶芸学部



手びねりでペン立てをつくる参加者

長崎や福江などから22人の女性が参加
彼女たちの目に映った波佐見の印象は

心にのこる、いい旅「いい街、いい人、いい事とのであい」をキャッチフレーズに、町観光協会では八月二十八日、二十九日の二日間観光大学を実施しました。

十八歳以上の女性を対象に、波佐見焼の知名度の向上と、魅力ある観光地を目指すため開催しているもので、今回で三回目になります。

今年、長崎市や諫早市、福江市などから、十九歳から五十八歳までの二十二人が参加しました。ほとんどの人が波佐見は初めてで「波佐見ってどんなところ」と興味を示しつつ、期待でいっぱいに参加です。

一日目は、波佐見の文化と歴史の講義の後、中尾の田淵博喜さんが「新しい波佐見焼のとりくみ」と題し講演。自らの体験を通して、生産する立場としてのやきものづくりの考え方、デザインの苦労などを紹介しました。午後は、自分自身のオリジナル作品をつくらうと、ロク

ロ、手びねり、絵付けの実習です。「難しい」を連発しながらのロクロ。先生の手つきの良さに見とれ、いとも簡単につくってしまう先生の作品に「すごい」と拍手。自分ではなかなかつくりあげることが出来ずに、半ばあきらめ顔の人もいます。それでも、なんとか自分でつくりあげ、嬉しそうにオリジナル作品に見入る人もいました。

手びねりは、自分の作品が簡単に出来るため嬉しそうです。全員がペン立てをつくりましたが、出来てからもほかの人のとは違うひと工夫を付け加えていました。

絵付けでは、花や木、抽象画などみなさん上手に書いていました。

二日目は、梨狩り、窯元見学、鬼木の郷土料理研究などを体験。参加した人たちは、「波佐見がこんなにすばらしいところだとは知りませんでした」「今度は、陶器まつりにも来たいですね」と話していました。

ひとこと

人の温かさが
感じられました



長崎から参加した
伊藤和子さん

昨年参加した友人から話を聞いて、ぜひ参加したいと思っていました。
長崎にはない人の温かさが感じられ、楽しい二日間でした。

すばらしい思い出
になりました



福江から参加した
片山聖子さん

やきものは五島にはないの
で、ぜひ一度体験したいと思
っていました。
ロクロはうまくできなかつ
たけど、楽しかったし、すば
らしい思い出になりました。

きれいな花が咲いたよ

花壇コンクール 最優秀に田ノ頭老人クラブ

平成三年度の町花いっぱい運動花壇コンクールの審査会が、八月二十二日に開かれ、田ノ頭老人クラブの花壇(田ノ頭公民館)が最優秀賞に選ばれました。

今年で十六回目を迎えた花壇コンクールに応募したのは、町内の各老人クラブや緑の少年団の二十五花壇。六月に、町と県から配布したサルビア、マリーゴールド、ペチュニアなど一万二千四百本の花苗に、それぞれの団体が準備された花が加えられ、赤、黄、白など色鮮やかに開花していました。

審査には、大村農業改良普及所、郷総代、婦人会、老人クラブ、造園業などの代表六人があたりました。審査ポイント

は四点。造園の工夫や配置色のアイディア性などの設置の状況、花付きや葉の状態などの成育の状況、土づくりや病害虫の駆除などの管理の状況、花壇名称の表示や地域

への普及性などの周辺との環境、以上四つの観点から一カ所一カ所を入念にチェックしました。審査員からは、「今年は、長雨や台風の影響で特別良かった。

た花壇は少なかった」「違う花を取り入れて、人に見せよう」と工夫された花壇が良かった。「白などの涼しい色の花を入れていけば、もっと良くなる」などの感想が出されました。



花付きなど入念にチェックする審査員

平成3年度花いっぱい運動花壇コンクール入賞花壇

賞	団体名	花壇名
最優秀賞	田ノ頭老人クラブ	田ノ頭公民館
優秀賞	乙長野老人クラブ	乙長野公民館
〃	岳辺田老人クラブ	岳辺田東前寺横
入選	甲長野老人クラブ	甲長野公民館
〃	緑の少年団	農村環境改善センター
〃	金屋老人クラブ	金屋公民館
〃	折敷瀬東老人クラブ	舞相会館
〃	井石老人クラブ	井石陶碑前
〃	鬼木老人クラブ	鬼木グラウンド
努力賞	皿山老人クラブ	皿山駐在所前
〃	野々川老人クラブ	野々川公民館

標語コンクール入選作品

- ふまずにね 花にも小さな命 あるんだよ
- 咲かせましょう 花いっぱい 明るい街を
- 花さけば みんな楽しい つうがくろ
- 花いっぱい 仲まもいっぱい きれいだね
- みずやれば はなはピカピカいきもち
- だいすきさ はなはピカピカえがおだよ
- ひろげよう しぜんいっぱい はなのみち
- 花の町 すんでみたいな いつまでも
- 花づくり おいも若きも 楽しめる

- 中尾かおり(東小六年)
 - 浦野 祥子(東小六年)
 - 江頭 佳太(東小四年)
 - 松尾 慶子(中央小五年)
 - 猪又ひとみ(中央小四年)
 - 浦川 央子(中央小四年)
 - 松尾 明子(中央小四年)
 - 福嶋 敬子(中央小四年)
 - 山口 真弥(中央小六年)
- 私たちの町 いろんな花をさかせたい
学校 道路 公園に
- 咲かせよう 花を家庭に町いっぱい
 - 花いっぱい やさしいいっぱい 波佐見町
 - 広げよう 花と緑の思いやり
 - 美しい 人の心で 花づくり
 - 波佐見町 花があふれる 夢の町
 - 貴方一本私一本 植えて波佐見は 花の町
 - 一本の 苗が結んだ 花なにかま
 - 育てあう 心に土に 花ひらく
 - 花いっぱい 豊かさいっぱい 波佐見町
 - 真心で 育てる喜び 花いっぱい
- 太田 茜(中央小六年)
 - 馬場 恵子(波中二年)
 - 松尾智恵子(波中一年)
 - 松尾 淳子(波中一年)
 - 武藤 祐治(波中二年)
 - 棚倉 希実(波中一年)
 - 中川 敬子(金屋郷)
 - 田崎 房代(皿山郷)
 - 有福 松代(宿郷)
 - 山下 光子(宿郷)
 - 徳永 繁夫(湯無田郷)



英国ボーイがロクロに挑戦

イギリスのボーイスカウト2人が波佐見を訪れ、やきものづくりに挑戦しました。

8月6日、稗木場郷の治甫窯を波佐見の隊員といっしょに訪れた2人は、早速ロクロに挑戦。立井清人さんの指導で花瓶などに取り組みました。

2人のうちサニル・アビューウィックリーム君(16)は「ロクロは初めてで難しいけどおもしろい」と楽しそうでした。



ボランティアでひさし修理

台風9号の強風で飛んでいた、中央小学校の手洗い場のひさし3カ所を、建設労働組合に加入している5人がボランティアで修理を行いました。

2学期がまもなく始まろうとする8月25日、長島則行さんら5人は早朝から作業を開始。鉄骨組みのひさし3カ所を、慣れた手つきで次々と修理していました。

世界一の^{つぼ}大壺寄贈

世界一の磁器製大壺と話題になった、折敷瀬郷の国右エ門窯製作の「十尺大壺廻り山水」が8月8日、松尾町長を訪れた同窯代表の一瀬国重さんから町に寄贈されました。

町では、たくさんの人に見てもらおうと早速陶芸の館に展示しました。同館を訪れた見学者は、近くで見る大壺の威容に「大きいね すごい」とビックリ。みなさんも一度見てみませんか。



松尾町長に目録を贈る一瀬さん

陶磁器元卸見本市

第33回県陶磁器元卸見本市が、8月22日、23日の2日間波佐見勤労者体育センターで開かれました。

今年は、波佐見から17社、三川内から5社の計22社が、約5万点の商品を出品し全国の専門店、問屋などと商談を行いました。

2日間の売り上げは約7億5000万円で目標額を約1億円下回りました。台風12号の接近により、遠方からの客が減ったことが影響しました。



24団体700人が参加したパレード

交通事故のない 安全な町づくりを



犠牲者への黙とうも行われました

波佐見では、今年に入って交通事故が多発し、死亡事故も3件発生するなど最悪の事態に陥っています。

こうした状況を重視した安全なわが街づくり推進協議会では、9月1日、「安全なわが街づくり推進大会」を開き、「道路の横断 手を上げて」をスローガンに、交通事故のない安全な町づくりを訴えました。

パレードは、工業組合前を県警音楽隊を先頭にスタート。中学校までの約2kmに、交通安全協会、交通安全母の会、老人クラブ、小中高校など24団体、700人が参加しました。

中学校での「交通安全のつどい」では「町民総ぐるみで、交通事故のない明るい町づくりに努力する」との大会決議を行いました。

ひろば



クラブ紹介

波中バレーボール部

(女子)

夏休み最後の八月三十一日は、一年生の部員は宿題の追い込みとかで、二年生だけの練習でした。パス、スパイクなどに引き続き、レギュラー対控への選手の試合形式の練習に移っていきます。その間、指導に当たる田添有さんからは絶えず足の運びや守備位置の確認などがあります。怠慢なプレーには厳しい指導

く度
いで

夏休みもほとんど毎日練習を続けた波中バレー部。活躍を感じさせるチームでした。

波佐見中学校女子バレーボール部も、八月に新チームができたばかりです。部員数は、一年生が二十三人、二年生が二十四人で合計四十七人。

田添さんは「まだ新チームをつくったばかりで、経験不足のため動きが分からないところなども出てきますが、素質はいいものを持っているので期待しています。それに、これまでは小柄な選手が多かったんですが、一六〇センチが増え大型化しています。守備も攻撃も出来る選手がそろっていますから、もっとバレーボールに欲を出して練習してくれたりいいチームになりま

すね」と、期待も大きいようです。

新チームがスタートしています。

が待ち受け、選手たちはみんな真剣な目でボールを追い掛けます。



大比良 美紀さん(21)

(三股郷)

(株)親和銀行勤務

□趣味

スポーツ観戦。

□好きな言葉

「一期一会」

□波佐見について

素朴で人情味あふれる町ですね。ただ、高校を卒業するとほとんどの人が出ていってしまいます。若い人が、ずっと波佐見に住みたいと思うような、活気のある魅力のある町になってほしいと思います。

チョッピリ 緊張したワ



野々川浮立で「銭太鼓」を踊った

村瀬 加菜子さん(左)
野沢 美樹さん(右)
ともに中学1年生

— 浮立の共演にて —

みんなの

シリーズ 人



初心者のテニス指導を続ける

橋口 巻雄さん
(皿山郷)

鴻ノ巣公園テニスコートで、週二回練習を続けている初心者のテニスクラブ「ラブリーズ」を指導する橋口さん。昭和三十四年、波佐見に初めて軟式庭球のクラブがつくられたところに、ラケットを握るようになったそうです。そのころは、周囲に熱心な人がたくさんいて、佐世保の大会などにもよく出場していました。県大会の個人戦では準優勝したこともあります。そして、昭和五十五年にテニス教室が開かれたのを期に硬式に転向。
「教える時は、つい強い口調で言ってしまうんですね。ラブリーズのメンバーは、まだ大会に出場したことはありませんが、早く上手になり、大会にもどんどん出てほしいですね」「テニスはみんなが楽しめるし、できればジュニアから始めてほしいですね」と話す橋口さん。まだまだ元気な六十四歳。



この石造神殿も永い歳月を経て、部分的に痛みがひどくなっていました。このため、今年5月に貴重な文化財を長く保存するための工事が行われました。

町の文化財

町有形文化財(建造物)
大神宮の

石造神殿(皿山郷)

皿山大神宮は、稗木場山(現皿山)を開拓し室町中期の長享元年(一四八七)祠を建てて五穀豊じょうを祈ったのが始まりです。以来五百年、神殿拝殿は幾度か改修されましたが、地区の鎮守としてあがめられてきました。今の石造神殿は明治初期、塩田(佐賀県)の名工筒井関平が精魂込めて刻みました。その構造や彫刻は芸術性高く、石で刻んだ神殿としては近隣にその比を見ません。神殿の西側に並んで建つ天満宮、宮地嶽の祠や、拝殿前の狗犬は同じく関平作です。神殿内に安置されている御神体は、石造の円形で太陽をかたどり、裏に享保六年(一七二〇)の刻字があります。石扉に二見が浦の夫婦岩に登る朝日を浮彫りしたのは、伊勢にちなんだ関平の考案でしょう。

みんなのスポーツ



軽やかな動きでスパイク

軽やかな動きで スパイク レシーブ

第二回ソフトバレーボール大会が、九月一日、町内の各地区から十六チームが参加して勤労者体育センターで開かれました。

バドミントンコートを使って、四十代の男女、五十代の男女それぞれ一人ずつの四人で戦うこの大会は運動量が大きく、汗びっしょりになりました。

選手は四十〜五十代の人たちですが、ミニバレーなどをしてる人が多く、転びながらのレシーブやジャンプしてのスパイクなど、若々しい軽やかな動きで試合を盛り上げます。

準決勝を勝ち上がって決勝に進んだのは、金屋Aと湯無



優勝した湯無田Bチーム

田B。第一セットは、金屋A

が終盤の追い上げをかわして先取。ところが、第二セットは序盤から終始湯無田Aがリードして一対一のタイに。と

もに、決勝らしいすばらしいラリーが続けられました。最終セットも、第二セット同様湯無田Aが好調な出出しで、

八対三とリードしてコートチェンジ。その後も加点し十二対五と大量リードを奪いまし

たが、ここから金屋Aが反撃。特に、終盤はサーブミスが続き十四対十二まで追い上げましたが、ここでサーブをミス。湯無田Aが逃げ切りました。

三セットとも、決勝にふさわしい好試合が展開されました。

試合結果は次のとおりです。
予選リーグ

協和日本晴 2	宿 E 2	金屋 C 2	田ノ頭 A 2
$\frac{15}{11} \frac{15}{9}$	$\frac{17}{16} \frac{15}{13}$	$\frac{15}{9} \frac{15}{9}$	$\frac{15}{7} \frac{15}{11}$
0 宿 A	0 田ノ頭 A	0 協和日本晴	0 宿 A

10月10日は
町民運動会
スポーツの秋
家族そろって参加
してください。

乙長野 2	宿 C 2	金屋 A 2	協和 コシヒカリ 2	湯無田 B 2	宿 D 2	湯無田 B 2	宿 E 2
$\frac{15}{11} \frac{13}{15}$	$\frac{15}{6} \frac{15}{8}$	$\frac{15}{13} \frac{11}{15}$	$\frac{15}{8} \frac{15}{12}$	$\frac{15}{9} \frac{15}{11}$	$\frac{15}{7} \frac{15}{6}$	$\frac{15}{9} \frac{15}{12}$	$\frac{15}{4} \frac{15}{10}$
1 田ノ頭 B	0 協和 コシヒカリ	1 田ノ頭 B	0 乙長野	0 金屋 D	0 金屋 D	1 宿 D	0 金屋 C
湯無田 B 2	金屋 A 2	湯無田 B 2	金屋 A 2	宿 B 2	湯無田 A 2	宿 B 2	金屋 A 2
$\frac{15}{12} \frac{15}{15}$	$\frac{15}{6} \frac{15}{3}$	$\frac{15}{8} \frac{17}{15}$	$\frac{15}{3} \frac{16}{14}$	$\frac{15}{11} \frac{15}{6}$	$\frac{15}{13} \frac{15}{11}$	$\frac{15}{6} \frac{15}{8}$	$\frac{15}{3} \frac{15}{14}$
1 金屋 A	0 宿 B	1 宿 E	1 宿 C	0 金屋 B	1 金屋 B	0 湯無田 A	1 宿 C

マイウェイクラブV



八月二十六日、郡民体育大会の子選を兼ねた第三回壮年スローピッチソフトボール大会が、十チームが参加して、鴻ノ巣公園グラウンドで開かれました。

四十歳以上が条件のこの大会には、ソフトボール熱が非常に高かった時期に活躍した名選手がずらりと顔をそろえ、パワフルな打撃と、華麗なグラブさばきを見せてくれました。

決勝には、準決勝で協和に勝った鹿山スポーツ愛好会と大平クラブに勝ったマイウェイクラブが名乗りを上げました。一回に二点を先制したマイウェイクラブは、二回も無死からレフト前ヒットが続ぎ、さらにセンターへの三塁打、



米国・カナダで親善剣道

川棚高校の剣道部が米国・カナダを訪問、親善剣道を行いました。波佐見からも、訪問団の団長を務めた橋口正吉さんと6人の剣道部員が参加。ロサンゼルスやトロントなどで米国やカナダの剣士と試合を行いました。

8月26日、10日間の日程を終えて帰国した7人は役場を訪れ、松尾町長に成果を報告しました。



全国大会出場メンバー

県青年大会が、七月二十日、二十一日の二日間開かれ、諫早球場で行われた軟式野球の部で波佐見チームが見事優勝。

決勝の奈留町戦は、四村〇

青年大会

二年連続の快挙

全国大会出場

二年連続で全国大会への出場権を手に入れました。

昨年の選手は二チームからの選抜でしたが、今年は協会加盟の九チームすべてから強豪を選抜した波佐見の最強軍団です。今年は、青年大会に出場できる年齢制限が二十九歳から三十五歳に引き上げられ、若さのパワーとベテランの経験の味がうまく組み合わされたチームになりました。

県大会は、昨年優勝のため二回戦から登場。西海町には苦戦したものの三対二で退け準決勝へ。県のA級チームがそのまま出場した南串山町とは息詰まる投手戦となり、数少ないチャンスを生かして得た一点を、白木敏郎投手がよく守って完封しました。

決勝の奈留町戦は、四村〇

監督は「昨年は、一回戦はコールド勝ちでしたが、二回戦で優勝した岩手に四対二で敗れました。今年のチームには、全国大会の経験者が十人くらいいるし、実力者がそろったので、ベスト四くらいはねらえると思います」と話しています。

内野強襲安打などで大量五点を奪い試合を決めました。試合結果は次のとおりです。

一回戦
鹿山スポーツ9-2内海クラブ
マイウェイクラブ16-0永尾壮年部
準決勝

二回戦
協和6-4中尾壮年
大平クラブ11-4志折
鹿山スポーツ1-0エティーンズ
マイウェイクラブ16-0永尾壮年部
決勝
鹿山スポーツ0-10210004
マイウェイクラブ2520000X9

祝 長 寿 　　いつまでもお元気で

最高齢は太田小美恵さん・田中幾代さんの98歳

氏名	年齢	住所	氏名	年齢	住所
太田小美恵	98歳	甲長野郷	松岡	93歳	協和郷
田中幾代	98歳	稗木場郷	坂口	93歳	金屋郷
石橋サツ	96歳	井石郷	西田	93歳	稗木場郷
河内トミ	96歳	岳辺田郷	本田	92歳	乙長野郷
中尾ハツ	95歳	村木郷	松下トキヨ	92歳	稗木場郷
福田サミ	95歳	稗木場郷	橋下トキヨ	92歳	田ノ頭郷
谷村ミサ	95歳	岳辺田郷	牛島	92歳	永尾郷
田澤小花	95歳	皿山郷	東島	92歳	岳辺田郷
平井仁兵衛	95歳	中尾郷	橋本	92歳	永尾郷
阪口シメ	95歳	井石郷	橋口	92歳	皿山郷
山口テイ	94歳	折敷瀬郷	田添	92歳	金屋郷
松尾シヲ	94歳	稗木場郷	武村	91歳	皿山郷
千布イチ	93歳	稗木場郷	佐々木ワキ	91歳	井石郷
開トミ	93歳	湯無田郷	山下	91歳	乙長野郷
大分モヨ	93歳	金屋郷	浦野	91歳	金屋郷
谷村源一	93歳	川内郷	松尾	91歳	野々川郷
廣瀬得三	93歳	乙長野郷	原口	91歳	三股郷
久保田ツル	93歳	岳辺田郷	千代田サガ	91歳	稗木場郷
森林ワイ	93歳	湯無田郷	本山	91歳	乙長野郷
田崎ツタ	93歳	湯無田郷	野口	91歳	野々川郷
高島マス	93歳	湯無田郷	吉川	91歳	金屋郷
吉田寅太郎	93歳	稗木場郷	松本	91歳	折敷瀬郷
廣田仁兵衛	93歳	川内郷	森	90歳	稗木場郷
山口ハシ	93歳	永尾郷	迎	90歳	宿折郷
			山口	90歳	志折郷
			溝口	90歳	宿折郷
			山口	90歳	志折郷
			北村	90歳	鬼木郷
			松尾	90歳	稗木場郷
			山口	90歳	中尾郷
			松添	90歳	協和郷
			大分	90歳	金屋郷
			一ノ瀬	90歳	金屋郷

九月十五日の「敬老の日」にあたり、本町の高齢者を調べてみました。町内の七十歳以上は千四百五十五人で、町人口の九・二割を占めており、その数は確実に増えています。九十歳以上の方を紹介し（敬称略）

(平成3年9月2日現在の長寿者名簿です。年齢は、9月15日現在の満年齢です。)



9月15日～21日は
老人福祉週間

長崎信義さんに知事感謝状

— 青少年健全育成成功労 —

青少年健全育成地区活動研究会が八月二十三日、佐々町で開かれ、長年にわたる青少年健全育成成功労者と

長崎さんは、永尾少年剣道クラブの育成会長として長年会運営に尽くされており、その功績に対し贈られたものです。昭和六十二年度からは、波佐見町スポーツ少年団本部長として尽力されています。

長崎さんの今後のご活躍を期待します。

して、永尾郷の長崎信義さん(五七)に、県知事感謝状が贈られました。



浮腫

東彼医師会 岡部信和 (川棚町)

「大変です、スグ診てください。腫れてるんです。」
 「そんなに慌てて、いったいどこが腫れたんですか？」
 「ここ、口の周りがこんなに腫れ上がってしまつて、まさか癌ではないでしょうか？」
 「ああ、それですか。それは神経血管性浮腫と呼ばれるもので心配は要りませんよ。」
 「急に出来たもので本当に驚きました。だけど癌で腫れることもあるんでしょう？」
 「そりゃ、ありますよ。」
 「ゲツノやっぱり！」
 「そんなに驚かなくてもいいですよ。これは静脈やリンパ管が犯されまたは圧迫されて腫れるもので、有名なものとして上大静脈症候群と呼ばれる病気がありますが稀です。じゃあ、どんな原因で体が

腫れることが多いのですか？」
 「今日のあなたのように部分的に浮腫（腫れ）を来した場合は比較的その診断がきめやすいのですが、全身的に浮腫をみる場合はもっと複雑です。第一に掲げるのは心臓……」
 「アッ、思い出しました。鬱血性心不全でしよう！。知ってますよ、うちのオジーちゃんがそうでしたから。手足特に足（下腿）が腫れて脛のところを指で押すとズブズブと引込んですぐには元に戻らないんですよネ。ひどい時は顔まで腫れて、息も心臓喘息というふうですネ、苦しくて横になれず座って眠ってましたね。」
 「よくご存じですね。第2へ進みます。肝臓も全身性浮腫の大事な原因です。」
 「実は、義理の兄がそうなんです。生来、肝臓は強くなかったらしいですが、アルコールの方も嫌いでなく一見元氣そうでした。先日、久し振りに会ったところ腹周りが太く堂々と見えましたが手足と不釣り合いで、何となくだるいと言つてまして、皮膚の色が妙に黒っぽかったのが印象的でした。肝硬変症とか言つてましたね。」

「第三番目は腎……」
 「腎臓ですね。肝臓とくれば次は腎臓に決まっています。何しろ、肝心（腎）な内臓だし、実は私自身小学校の時、急性糸球体腎炎に罹りましたので覚えてます。扁桃炎に罹つてしばらくして手と顔が腫れぼったいからと母に連れられ診察を受けました。オシッコは良く出ているかと聞かれ、そういうえば少ないようだと母が答えてました。体重が急に増加しており、すこし息苦しかったような記憶があります。ネフローゼ症候群とか慢性腎不全という病気の場合も腫れがひどいふうですね。」
 「四番目の栄養不良は私にもしゃべらせてください。十分な食物を摂れない人、せっかく食べても良く吸収出来ない人、中には血液中の成分が外にしみ出してしまふ病気もあります。さらに付け加えますと、貧血、種々のホルモンの異常、ビタミン不足、薬の副作用も忘れられません。あなたは女性ではありませんかから妊娠中毒症は、もちろん考える必要はありませんが……問題の口の周りの腫れは、二、三日で治さようなら。」

健康テレフォンプログラム

	9 月
月	老人に多いガン
火	子どもに多いガン
水	婦人に多いガン
木	酒飲みが多いガン
金	タバコの方に多いガン
土・日	ガンは遺伝するか？

	10 月
月	小人症について
火	発育期のスポーツと健康
水	川崎病
木	うおの目とたこ
金	燃えつき症候群—あなたは大丈夫？
土・日	陰部ヘルペス

長崎 ☎ 0958-26-5511
 佐世保 ☎ 0956-23-4300

こんにちは
 栄養士です

カルシウムを上手に摂ろう

インスタント食品のとり過ぎに「ご用心」。

食品添加物として現在使われているリン酸化合物は三十種以上に及んでいます。これらリン酸化合物を多量に含むインスタント食品や加工食品をいつも食べていると、カルシウムが体に吸収されにくいと言われます。それはせっかくカルシウムを摂取しても体内でカルシウムとリン酸塩が結合してリン酸カルシウムに化けてしまふからです。

このリン酸カルシウムは体には吸収されず、そのまま体外へ排出されてしまいます。ラーメン類、おべんとうのおかずを利用することの多い冷凍加工食品など、手軽さゆえに使い過ぎると目に見えないところで、大きな「落とし穴」がまっています。

「食欲の秋」も目の前にやってきました。栄養のバランスを考え、カルシウムを多く含む食品を積極的に調理にとり入れてゆくこと、それには意識的に「食べよう」という姿勢が大事です。

年金

受給者の死亡届はすみやかに

国民年金受給者が死亡されたときは、すみやかに届け出をお願いします。

1. 年金を受ける権利は、死亡すると消滅します。
◎14日以内に「国民年金受給権者死亡届」を提出してください。
2. 年金を受けている人が死亡し、その人が死亡するまでに受け取るはずだった年金は、請求すれば遺族が受けられます。
◎すみやかに「未支給年金請求書」を提出してください。

届出の用紙は、役場年金係にあります。なお、届け出の際には、印鑑・預金通帳・年金証書・戸籍謄本・住民票謄本等が必要です。

「働くよろこび明日への希望」

9月は、障害者雇用促進月間です。

- ◎障害者がごく自然に健常者とともに社会参加できるような状態をつくり出しましょう。
 - ◎就職を希望する障害者の職場を確保することは、社会全体の責務です。一人でも多くの障害者の採用について事業主の皆さんの努力と工夫をお願いします。
 - ◎労働省、障害者雇用促進協会等では、障害者の雇用を促進するため、各種の援護制度を設けています。
- 詳しくは大村公共職業安定所（☎0957-52-2101）へご相談ください。

お年寄りの

悩みごと困りごとには

☎0958-28-0110
(プッシュ回線#8080)

気軽にお電話を

- 相談はすべて無料です
- 個人の秘密は固く守ります。
- 遠隔地からの相談者には、電話料負担が軽くなる方法をとっています。

長崎県すこやか長寿財団
(財)長崎県シルバーサービス総合センター
長崎市江戸町6番5号

10月13日～19日は

行政相談週間

10月13日から19日までの1週間は、「行政相談週間」です。毎日のくらしの中で、道路や環境衛生など、役所に対する要望や意見はありませんか。町や県、国の仕事で、問題が起きたときにみなさんの意見を聞き、問題解決を図ることを目的としているのが「行政相談」です。

しかし、「苦情はあるが、役所に行って直接は言にくい」「どこへ申し出たらいいのかわからない」という人も少なくないでしょう。その時は、行政相談委員に相談してください。口頭、電話、手紙のいずれでもかまいません。本町の行政相談委員は、野々川郷の久保田芬さん（☎85-3726）です。

行政・人権・心配ごと
合同相談所

役場に対する苦情・要望をはじめ、人権に関すること、サラ金や家庭内での悩みなど何でも結構です。気軽にご相談ください。
(相談は無料、秘密扱いです。)

10月16日(水)

午前10時～12時 } 役場相談室
午後1時～4時 }

高齢者生かす雇用の新時代

10月は高年齢者雇用促進月間

労働省では毎年10月1日から10月31日までを「高年齢者雇用促進月間」と定めています。高年齢者の雇用、就業問題について、事業主をはじめ広く国民全体の理解と協力を求める一方、60歳定年の完全定着と定年到達者の継続雇用の推進等により高年齢者の職場の確保に努めています。

そこで、事業主のみなさんもご承知のように現在、若年労働者を中心に人手不足が続いています。

今こそ、人材確保に高齢者の長年の経験、技能、能力を職場に生かしてみたらいかがでしょうか。

なお、60歳以上の定年延長とか、安定所の紹介により55歳以上の人を雇い入れた場合については助成金が受けられる制度があります。

詳しくは大村公共職業安定所（☎0957-52-2101）へお問い合わせください。

町では 若い力を募集します

職 種 行政職（一般行政事務）
採用予定 若干名
受験資格 昭和39年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた人で、大学卒業程度の学力を有する人
申込方法 申込用紙を役場総務課で受け取り、平成3年9月27日までに申し込んでください。
一次試験 平成3年10月27日(日)
 詳しくは、役場総務課にお尋ねください。

原稿は10月31日までに 「波佐見文化・第5号」

あなたの寄稿をお待ちしています。
 随筆、短歌・詩、クラブ紹介など何でも
 詳しくは、町公民館内、町文化協会事務局へ
 (☎ 85-2034)

ブラスバンド

波佐見にブラスバンドをつくるよう準備しています。楽器の種類、音楽のジャンルは問わず、楽しくできることを目的としています。

音楽、楽器に興味のある人、物置きや押し入れに楽器を眠らせている人、やりたくても活動する場所がない人など一緒にやりませんか。楽器がない人も大歓迎です。

問い合わせは、湯無田郷の武村澄樹さんへ。
 (☎85-3070)

休 日 当 番 医	9月15日	山本外科医院(川 棚)(82)2495
	16日	蓮輪診療所(波佐見)(85)5221
	22日	鈴木病院(東彼杵)0957(46)0145
	23日	宮崎外科医院(波佐見)(85)2221
	29日	岡部内科医院(川 棚)(82)5005
	10月6日	西の原野中医院(波佐見)(85)3054
	10日	山川医院(東彼杵)0957(46)0020
	13日	松尾産婦人科医院(川 棚)(82)2038
	20日	下川医院(川 棚)(82)4126
	27日	青木医院(川棚)(83)3355

不用犬回収日

第1～第4金曜日です。
 午前8時30分から10時までに
 役場保健衛生課で受け付けを済
 ませてください。



ぼしゅう

県勤労者美術展

- 会場・会期
 - ・長崎県立美術博物館
12月10日～12月15日
 - ・佐世保市博物館島瀬美術センター
12月18日～12月22日
- 出品部門
洋画、日本画、南画、書、写真。
- 出品資格
県内に住所を有する勤労者
- 出品申込み
11月11日～11月16日
佐世保労政事務所（佐世保市労働福祉センター内）☎22-4439
詳しくは、佐世保労政事務所にお尋ねください。

自衛官（学生）

防衛大・防衛医科大学生
資 格 高卒（見込）で21歳未満の人
受 付 10月1日(火)～10月25日(金)
試 験 (1次)
 防衛大 11月3日(日)～4日(月)
 試験場 諫早商工会議所
 防衛医科大 11月9日(土)～10日(日)
 試験場 諫早商工会議所

看護学生
資 格 高卒（見込）で22歳未満の女子
受 付 10月1日(火)～10月31日(木)
試 験 (1次) 11月22日(金)
 試験場 大村市コミュニティセンター

詳しくは、自衛隊大村募集事務所にお尋ねください。
 (☎0957-52-6217)

ストップ ザ・交通事故

1月から8月までに発生した町内の事故の状況をお知らせします。

- ・発生件数 32件 (+8)
- ・死者 3人 (+3)
- ・傷者 45人 (+19)
- ・物損 109件 (-4)
- ・飲酒運転検挙 16人

交通事故巡回相談

開催日 9月27日(金)
10月25日(金)
時間 10時~16時
開催場所 川棚町役場

善意の窓

○香典返しにかえて

- 中尾郷 浅田 敦子様
- 御主人故浅田竹之様
- 中尾郷 福田 正彦様
- 御尊父故福田博様
- 川内郷 野本 砂男様
- 御母堂故野本リヨ様
- 協和郷 末富 保子様
- 御主人故末富勝美様
- 井石郷 井手善一郎様
- 御夫人故井手ミチ子様

- 宿郷 竹嶋 善末様
- 御尊父故竹嶋千萬亀様
- 永尾郷 河野 勉様
- 御母堂故河野テル様
- 鬼木郷 北村タキ子様
- 御主人故北村照次様
- 折敷瀬郷 江口 末男様
- 御夫人故江口鈴子様
- お見舞返しにかえて
- 折敷瀬郷 山道 博良様
- 井石郷 山川 菊松様
- 井石郷 富永 虎男様
- 志折郷 前田トミエ様
- 湯無田郷 太田 武馬様
- 金一封
- 匿名希望者

以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。
それぞれの寄付に対し厚くお礼申し上げます。
波佐見町社会福祉協議会

来月の納金

- 町民税
- 国民健康保険料
- 国民年金保険料
- 水道使用料

お誕生おめでとう

- | 子の名 | 保護者 | 住所 |
|-------|-----|------|
| 中野 伸一 | 弘義 | 小樽郷 |
| 前川 艶子 | 祐之介 | 小樽郷 |
| 宮口 直子 | 政道 | 井石郷 |
| 江口 千博 | 雅彦 | 折敷瀬郷 |
| 成田 賢史 | 和博 | 折敷瀬郷 |
| 原 優作 | 靖 | 折敷瀬郷 |
| 鳥屋 尚見 | 信行 | 宿郷 |
| 三石 沙希 | 和広 | 村木郷 |
| 藤堂 貴理 | 盛雄 | 皿山郷 |
| 吉田まい子 | 徳見 | 甲長野郷 |
| 松下 竜太 | 喜光 | 協和郷 |

ご結婚おめでとう

- (井手 修一 佐賀市
澤村江利花 村木郷)

おくやみ申し上げます

- | | | |
|-------|------|-----|
| 池田 テイ | 野々川郷 | 86歳 |
| 飯笹 辰夫 | 折敷瀬郷 | 76歳 |
| 西 リツ | 村木郷 | 83歳 |
| 今里 末子 | 皿山郷 | 70歳 |
| 市瀬 繁利 | 稗木場郷 | 79歳 |
| 執行 政一 | 田ノ頭郷 | 68歳 |
| 太田 スエ | 岳辺田郷 | 88歳 |
| 尾崎 政幸 | 乙長野郷 | 64歳 |
| 森 浩治 | 協和郷 | 69歳 |
| 古川 榮子 | 中山郷 | 49歳 |

炊き込みご飯

炊き込みご飯は、季節感あふれる「料理」です。ツクシヤタケノコなど、四季の彩りがご飯に入っているのは、見ているだけでも楽しいもの。特に季節の食べ物豊富な秋は、さまざま旬を味わうことができます。

秋といえばマツタケです。マツタケは炊き込みご飯の「王者」ですが、ほかにもシメジやマイタケなど、いろいろなキノコご飯が楽しめます。栗や芋、ギンナンなどを入れてもいいですね。いまはごちそうとなった炊き込みご飯ですが、昔、米が貴重だった時代は「糎飯」といいました。糎とは「足し前の食べ物」とか「雑炊」という意味で、米に何かを混ぜてかさを増した「苦肉の料理」だったのです。

このほか、干し芋や大根の葉の干したものを、アワやヒエ、山菜などの雑穀も、米に混ぜて炊き込んだりします。



これらも、いまでは健康食品として喜ばれています。また、炊き込みご飯のなかでも、いろいろな具を入れた五目飯は、栄養のバランスがよいので、家庭料理のお勧めメニューです。

ところで、食事の栄養バランスですが、最近の日本人の食事は、魚や海藻などの水産物の割合が減ってきています。十月は「魚食普及月間」です。秋から冬にかけては、魚のおいしい季節——成人病などを予防し健康を保持・増進させる食品として見直されている魚介類に、もっと親しんでみたいものですね。